

*** 稲葉俊郎先生 講演会 ***

～植物意識と動物意識のあいとしての「わたし」～



<講座内容>

「にんげん」は永遠なる「いのち」の流れの中で創造される芸術作品です。「いのち」が海から陸へとエイヤ!と飛び出した時、様々な場所で大革命が起こりました。どんな「にんげん」も、ひとつの受精卵細胞(単細胞生物)から、約 1000000000000000 個の生命体(多細胞生物)へと変化する奇跡的なプロセスを経ていきます。初期の受精卵では、動物極と植物極という二つの極へ引き裂かれますが、その後の発生の過程では、「くだ」としての植物性臓器を覆うように動物性臓器がかぶさります。こうして、宇宙と共振する植物性臓器はマイクロコスモスとして人体の中に秘かに閉じ込められるわけです。そのことで、「にんげん」は自然と調和的な植物性意識と、反自然的な動物性意識のあわいの存在となりました。胎児は羊水という海の中から、この世への誕生により陸へと上陸します。胎児は母体の十月十日で「いのち」が海から陸へと進化した歴史を繰り返すと、三木成夫先生はおっしゃいました。今回の講座では、そんな植物意識と動物意識の葛藤に悩む「にんげん」を、受精卵の発生と「いのち」の進化の歴史を重ね合わせながらご紹介します。その上で、宇宙に浮かぶ地球という星に生まれた「にんげん」は、



《稲葉俊郎先生のご紹介》



1979年 熊本生まれ。
2004年 東京大学医学部医学科卒業。2014年 東京大学医学系研究科内科学大学院博士課程卒業(医学博士)。現在、東京大学医学部付属病院に循環器内科医として勤務。
心臓を内科的に治療するカテーテル治療や心不全が専門。他にも往診による在宅医療や、夏季瀬沢診療所にて山岳医療も行っている。
あらゆる代替医療や各種ヒーリングも勉強し、科学、伝統医療、心理学、精神医学、芸術、民俗学、宗教、農業、精神世界・・・など、現代医療に色々なものを自由自在に結び付けつけていくことを日々考えている。
尊敬する人物は岡本太郎、横尾忠則、手塚治虫、河合隼雄、井筒俊彦、村上春樹、寺田寅彦、武満徹、美輪明宏、葛飾北斎、バックミンスター・フラー、ジョン・レノン、老子、荘子、ブッダなど多数。

【日時】 2014年12月10日(水) 19:00~21:00

【場所】 杉並区大宮 1-14-7 リーフ・オー・フォレスト

レンタルスペース・サロンO(地下1階・大会議室) <http://www.salon-o.co.jp>

井の頭線「永福町」駅、東京メトロ丸の内線「方南町」駅より徒歩 13分

【料金】 アドバンスコース修了者:2,000円、日本五感療法協会会員:2,500円、一般:3,000円

***当日「心臓血流バージョンの周波数音叉体験」を企画しています。**

お席に限りがありますので御興味のある方はお早めに御申し込みください。



【お申込み・お問合せ】

◆ 一般社団法人 日本五感療法協会 ◆

【メール】 info@5kan.tokyo

または、quon.no.aozora.by.spica@gmail.com(三宅)

【電話】 090-4022-2290/03-5913-8484
090-4950-6351(三宅)

【HP】 <http://5kan.tokyo/>

【FB】 <https://www.facebook.com/5sensus>

担当:三宅 咲智子